

ふくつ姉妹。

平成 30 年度福岡県

「女性による元気な地域づくり応援講座事業」女性げんき塾報告書

「ふくつ姉妹。」趣旨説明

福津のまちが好きな人、まちの未来に関わりたい人がつながって、何か始めよう！というプロジェクトです。仲間を作り、「何かやりたいこと」を実践しながら、市民同士や市民と行政、市民と郷づくりが、コラボしやすい土壌を作りたいと考えています。



福津市副市長松田美幸さん講演

20代からスタートした数々のまちづくり活動の経験に基づいたメッセージは、どれも胸に刺さるものでした。その中のいくつかをご紹介します。

- ・日々の選択が今の自分を作っている。今選んでいる一つの点は、今はつながってなくても、自分の直観を信じて選ぶと後から繋がっていくから、たくさん点を見つけていこう
 - ・自分への投資は、最初は自分自身がするが、その先は、人から投資する価値があると思ってもらえる自分になろう。
 - ・まちづくりの主体として市民が活動するときには、「責任」を自分たちも担うという意識が大切。そうすることで、やりたいと思う活動が実現し、広がっていく。
- 最後に、いくつになっても挑戦する人は輝ける！と背中を押してくださいました。



郷女クロストーク

福津市には、概ね小学校区ごとにある、市民が主役の地域づくり活動「郷づくり」があります。神輿東郷づくり会長の奥弘子さんは、「現場で自分ができることを活動してきただけで、特別ではない。誰でもリーダーになれる」、子どもが保育園児のころから郷づくり活動を続ける宮木裕子さんは、「会議の場では、自分ひとりで発言すると『個人的な想い』だと受け止められがちだが、もう一人女性が加わることで『大事な意見』だと扱ってもらえる。仲間を作ることが大事」と、経験談を語ってくださいました。



ワールドカフェ

参加者同士がお互いを知り合う場、今、心の中に湧きあがった気持ちを共有する場として、ワールドカフェを行いました。問いは「私と地域との距離はどのくらい？」。一人ひとり、距離の捉え方やその単位も様々でしたが、グループで紹介し合い、それぞれがどんな想いでこの場に来ているのか、知ることができました。



参加者からは、「楽しく話ができて、新しい出会いがあっとうれしかった」「今日この場に来ているようなステキな人は、福津にもっといるはず。出会ってつながれたらいいな」等感想をいただきました。また、男性の参加者からは、「女性の力に期待している。応援します」との力強いエールも。

初回から、協力し合って「楽しく対話ができる」場をともに作ってくださった参加者のみなさん。次回以降もたくさん対話を重ねながら、「つながって、何かはじめたい」という想いを形にしていく過程を楽しんでいきたいと思えます。

こととば那珂川ディレクターの松木治子さんから、ホワイトボードを活用して進めるホワイトボードミーティング®という会議の手法を学びました。



【本講座の3つの目標（ゴール）】

- ・良好なコミュニケーションで学びあう関係を育む。
- ・ホワイトボードミーティング®の進め方を学び、ふりかえりで情報共有の充実を目指す。
- ・以上を通じて、日頃の活動や元氣塾に活かす

ホワイトボードミーティング®とは

ホワイトボード・ミーティング®では、相手の意見を書くことで承認します。ファシリテーターは、「質問の技カード」にある9つのオープニングエスジョンと8つのあいづちを使いながら深い情報共有をめざします。発言を要約せずに語尾まで大切にホワイトボードに書き、ちょっとしたアイデアやエピソードも、貴重な意見として活かしていきます。黒、赤、青のマーカーで色を分けて書き、話し合いに「発散、収束、活用」のプロセスを作ることで思考や対話が整理され、具体的な結論や行動計画が決まっていきます。

ホワイトボードミーティング®の5つの特徴

- ①ホワイトボードに意見を可視化します。
- ②進行役をファシリテーター、参加者をサイドワーカーと呼びます。
- ③「質問の技カード」で、深い情報共有を進めます。
- ④話し合いに「発散→収束→活用」のプロセスを作り、色を分けて書きます。書きながら意見を深めていくことが特徴です。
- ⑤6つの基本会議フレームを活用します。（定例進捗会議、役割分担会議、企画会議、情報共有会議、課題解決会議、ホワイトボードケース会議）



実践練習

グループごとに分かれて「定例進捗会議」の練習をし、終盤の「企画会議」では、9月22日にある第4回目の講座「100人女子会&ふくつまルシェ」の集客を各グループで話し合いました。



参加者の感想

- ・今日学んだオープニングエスジョンを使って、友達や家族に言葉をかけてみようと思いました。
- ・自分の言ったことを書いてもらうだけで、安心な場がうまれることを実感しました。
- ・大変わかりやすかった。ホワイトボードミーティング®を学ぶのは2回目でしたが、やっと自分のかわる会の会議に取り入れていけそうです!!
- ・仕事にもプライベートにも活用できそうです。大変参考になりました。

これまでの流れと今後のスケジュールについて確認した後、企画会議に入りました。

やりたいこと毎にグループを作り分けて、話し合い

前回のアンケートで質問した「福津市でやりたいこと」についての結果を紹介した上で、グループに分かれて「福津でやりたいこと」について話し合いました。

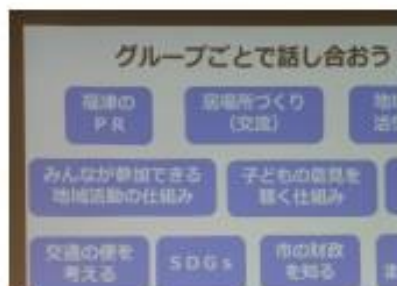
意見を付箋に書いて、それをホワイトボードに貼ることで、みんなの意見を共有、視覚化することができ、考えがまとまりやすいと好評でした。

今回で3回目となり、受講生同士も顔見知りになり、話し合いにも慣れてきて、どのグループも活発に意見交換をしていたのが印象的でした。

そして受講生たちは、

- ① 居場所づくり
- ② 居場所づくり2
- ③ 稼ぐまちづくり
- ④ 子どもの育ち応援

の4つにわかれ、更に何がしたいのか、どんなことができるのか、話し合いを進めていきました。



次回の100人女子会では、交流をしながら新しい仲間を作り、さらに企画を進めていく予定です。

★100人女子会

お名前プラカードを作ることからスタート

今日参加している方のお名前や、今活動していること等がわかるよう、お名前プラカードを作ってもらいました。絵を書いたり、自分が関わっている企画のチラシを貼ったりと、個性豊かなプラカードができました。

改めて、「ふくつ姉妹。」とは

約3分の1の方がはじめての参加者ということで、まず「ふくつ姉妹。」について説明しました。福津のまちが好き、まちの未来に関わりたい人がつながって、何か始めよう！という、プロジェクト「ふくつ姉妹。」が7月にスタートして2か月。これまでに3回開催し、現在「福津でこれをしてほしい！」という企画の種がいくつか出てきました。進行役から「今日は、みなさんとたくさんの交流をしながら仲間づくりをして、気になる企画について話を深めていきましょう」と呼びかけました。

アイスブレイク「ふくつBINGO」

受付でお配りした「ふくつピンゴ」シートを使って自己紹介ゲームを行いました。二人一組になってお互いに1つずつ質問し、質問に答えてくれた方の回答とお名前をシートに書き入れて、相手をチェンジしながらピンゴを目指していきます。たくさんのピンゴを作る人、じっくりと相手とお話する人。各々楽しく交流をしていきました。



交流&告知タイム

さらに、お菓子とお茶をつまみながら自由に交流。その後希望者を募り、今、自分が関わっている企画のPRをしました。後日「100人女子会の参加者がイベントに参加してくれました！」「あの講座に参加してよかった」等、うれしい声もいただきました。



企画紹介タイム

後半は、第3回講座で出た「自分たちがやりたいこと」をグループごとに発表しました。前回から2週間足らずの間に、どんどん企画を立てていく「ふくつ姉妹。」のみなさん。すごいエネルギーです！

当初12時終了の予定でしたが、たくさんの方がそのまま会場に残り、参加者からの差し入れや、マルシェでゲットした食べ物やコーヒーをいただきながら、話に花を咲かせていました♪

いよいよここから「ふくつ姉妹。」は第2ステージに突入です。

現在4つのグループにわかれて企画を進めています。1月27日の公開プレゼン会に向けて、「やりたいこと」を実現するための話し合いやリサーチ・実践等を行っていきます。



★ふくつマルシェ

福津の美味しいもの8店舗が集合♪お昼を過ぎたあたりからお客が増え、どのお店にもぎわいを見せていました。

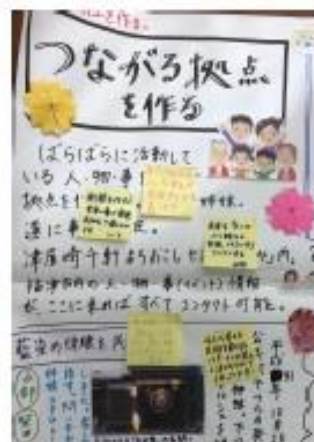


グループ活動スタート 2018.9.~

ここからは、まちづくりファシリテーターの辻桂子さんに企画アドバイザーとして関わっていただきました。

どんなことを、どんなふうに進めていったらいいか整理したいという受講生向けに、「アイデア」を企画や計画に落とし込むワークショップを行ったり、これからの地域活動に必要な視点「SDGs」を学ぶ研修を開催したりしながら、少しずつ「想い」を形にしていきました。

その後、各グループで、何度も何度も話し合いを重ね、調査や実践をしながら、自分たちの企画を磨いていきました。



第5回 中間報告「〇な郷」を形にして発信 2018.12.1 福津市役所別館ホール

これまでのグループ活動の内容を全体で共有するとともに、1月27日のプレゼン大会を前に、時間を意識してみなさんの前で話すことを体験し、どのように話をしたら聞き手に伝わるか、学ぶ時間となりました。

受講生から、名刺作成の提案

「これからさらに活動を進めていく上で、たくさんの人たちとつながりたい。そのために、ふくつ姉妹。の名刺を作りたい!」と、受講生から提案をもらいました。一同共感し、早速制作することに。



人前で落ち着いて話すワンポイントアドバイス

アイスブレイクとして、司会業をしている実行委員より、人前に立ったときに緊張を鎮めるコツや、体や口の使い方を習いました。

中間発表タイム&アドバイザーからの助言



松田美幸副市長のデザイン思考ミニ講座



平成30年7月の開講式から半年。

受講生たちは、講座やワークショップなどを通して学び、体験したことを、地域にどう反映できるか話し合ってきました。現在は、3グループに分かれ、それぞれで更に具体的な目標や計画を練り、模索しながら実行している段階です。

今回は、これまでの活動報告、そしてこれからの展開や構想の企画を、地域、郷づくり関係者、市役所の各課から興味を持って参加いただいた方へプレゼンテーションしました。

プレゼンテーション

①「ちいさなおうちカフェ」（居場所づくり）

独居者から子育て中の方などが立ち寄れる居場所、運営者同士の横の連携、サポート体制が整った居場所作りを目指すグループ。実際に受講生の個人宅で実施した「おうちカフェ」の報告と感想、これからの展開を発表しました。

（→プレゼン企画内容は7ページ）



②「子どもの育ち応援隊」（子育て応援）

子どもたちが交流する機会を通じて、子どもの居場所を創りたい。子どもの育ちを支える居場所として、子ども会活動の活性化を楽しく目指すグループ。中学生、高校生、大学生が中心になって企画・活動しています。

たくさんの来場者を前に、緊張せず落ち着いて発表できました。

（→プレゼン企画内容は8ページ）



③「稼ぐまちづくり」

稼ぐならば「ボチボチかな」と発足したけれど、しっかり稼ぐ企画を次々に打ち出している活発なグループ。

LINEでリアルタイムに連絡しあい、月に2回以上は顔を合わせ、綿密に打ち合わせを重ねてきました。

（→プレゼン企画内容は9ページ）



来場者に渡した付箋には、メモがびっしり。プレゼンテーションへの反応が良く手ごたえをかんじました。また、プレゼンに共感できると思った方にふくつ姉妹のカードを挙げてもらう等、会場で一体感を共有しました。

マッチング大会

グループ毎にわかれて意見交換・交流タイムを行いました。

参加者は、関心のあるグループに移動。質問やアドバイス等が飛び交い、会場は盛り上がりました。



谷岡智子、矢野八重子、佐々木果苗、大山美恵、古里美津子

☺ 私たちが提案するちいさなおうちカフェ ☺

- ＊ 歩いて行けて、一人でも気軽に立ち寄れる居場所
- ＊ ワンオペ育児、アウェイ育児のママが実家みたいにホッとできる居場所
- ＊ 学校に行けていなくても安心して顔を出せる居場所
- ＊ 独居の高齢者、遠くまで出かけるのが大変な方の憩いの居場所
- ＊ 異世代、同世代、ご近所さんとの交流ができる居場所
- ＊ 用事がなくてもふらりと行ける居場所
- ＊ 少人数ならワークショップを開いてみたい、という方を応援する居場所
- ＊ 持ち寄りランチやお茶会をできる居場所



☺ おうちカフェのめざすところ ☺

自宅の一部屋で、場所を借りて、誰でもやりたいことからすぐに始められる「ちいさなおうちカフェ」。目指しているのは、運営者のオリジナリティを出しながら、運営者同士の横のつながりを築き、サポート体制が整った居場所づくりの仕組みを作ること。お互いにお手伝いに行ったり、共同企画をしてみたり、連携を取り、サポートし合いながら、各地域で広がり、繋がっていく事を目指している。

☺ おうちカフェの運営ルール ☺

- ＊ 皆で楽しめる話題を心がける
- ＊ 宗教・ネットワーク・保険などの販促活動はNG
- ＊ トラブルがあった場合は、個々で解決する



☺ おうちカフェ実施例 ☺

10月～12月にかけて計5回実施

- ◆ 一品持ち寄りでバイキングランチ
- ◆ ママはお客様！親子で参加し、ママはゆっくり手作りご飯を食べる会
- ◆ 毎月恒例ピザの会。ランチの後は、座ったままで体操教室。最高齢 90 歳！
- ◆ 講師デビューを応援！編み物ワークショップ&マルシェ（野菜・パン etc）
- ◆ ホームベーカリーを使って、ちくわパンを教えてもらう会

☺ 参加者の声 ☺

- ◆ 実家に帰ったみたいに暖かい感じで良かった（子育てママ）
- ◆ 出かける場所があって嬉しい（高齢者の方）
- ◆ お家なので外部から他人が入ることがないので安心感がある



☺ さいごに ☺

課題は、告知の方法や信用性のアピール。今後は、同じような思いをもった方が増えていき、各地域にカフェが広がっていければと考えている。また、情報、場所、食材などを提供してくれる行政、企業、個人の方と繋がっていきたいと思う。

(大人) 相良奈見、占部明子、緒方泰世、森祥子、山口恵美、山西菜穂子
(大学生) 森美月、山本開輝
(中学生) 石田大明、藤吉亮羽、松田堂志 (小学生) 白金優人

大きなビジョン

- ・今の福津市に住んでいる子どもたちが、大人になっても、地元へ愛着を持ち、福津市に住み続けてほしい。
- ・子どもたちが交流する活動を通じて得たものを、将来親になったときに、次の世代の子どもたちに還元できる人に育ててほしい。



問題意識→仮説

どうしたら、子どもたちが大人になっても、福津で暮らしたいと思うだろうか？
子ども時代に、福津での多様な人との交流、様々な経験や挑戦をすることで、それが福津での思い出深いものとして残るのではないかと。それぞれの思い出によって、福津への愛着が生まれ、大人になっても、福津で暮らしたいという気持ちが続くのではないかと、仮説を立てた。

子ども時代の思い出の場「子ども会」は今…

ヒアリング調査によると、現在の子ども会は、共働き世帯が多く、役員を引き受けたり、イベントの準備するのが大変だということがわかった。また、親世代が子ども会を知らず、その意義を理解していないことが見えてきた。これでは、活動の質も落ち、それによって、子どもの居場所や楽しむ場が減ってしまう。

子ども会活動の活性化活動を若者主体で

そこで、子どもの居場所を作り、育ちの応援サポートを行う企画を考えた。活動企画の準備・運営を若者が中心的に担い、忙しい親の負担を軽減させる。実際に活動するために、若者有志団体「ふくつチャレンジ部」を立ち上げた。

ふくつチャレンジ部とは

子どもの居場所づくりを行う学生組織。大学生・中学生・小学生で活動をスタートし、今後メンバーを増やす予定。「居場所」は、子どもだけではなく、親や地域の人も参加してもらえよう企画にしたいと検討している。

今後の活動予定

1年目は、「ふくつチャレンジ部」内で、レクリエーション習得のための活動や、大人との連携会議開催、組織づくりを行う。2年目以降は、様々な団体への出前活動、小中学生を対象としたイベントを開催する。また、組織としては、小学校高学年も巻き込んでいき、継続的に活動できる体制を作る。

さいごに

継続して活動することで、多世代が支え合う関係を作り、地域で顔見知りが増え、安全安心な地域づくりにつなげ、地域の力のレベルアップをはかりたい。課題は、活動資金と会議する場所。みなさんの知恵を貸していただきたい。

「福津の魅力を発信して、ぼちぼち稼ぐから、きちんと稼ぐへ」企画提案

梅谷真知子、鶴田隆子、児玉麻紀、柴田奈緒美、宮木裕子
森千笑、佐々木紀子、小野恵美子、永尾富士恵

なぜ、きちんと稼ぐのか

- ① 福津はボランティア活動はとても盛んだが、担い手不足や持ち出し経費発生という課題がある。
- ② おうちカフェ & フリマを実施した経験から、継続的な活動を行うためには事業としての自立が必要だと感じた
- ③ ソーシャルビジネスの番組を視聴して、社会的な課題をビジネスを通して解決したいと考えた

福津市の課題を稼ぎながら解決

- ① 福津市全体で、市外からも稼げるまちになることを考える
- ② 下記の福津市の課題を、ソーシャルビジネスの視点で解決を目指す
 - ★2017年福津市平均所得 3,012,195円（全国市区町村475位）
 - ★2016年度ふるさと納税額 2,000万円（宗像市は6億9,000万円）
 - ★2018年住みよいまちランキング総合11位（しかし、富裕度539位、住居水準359位）

どう稼ぐのか

- ① 福津の物産・手作品などを首都圏で販売・宣伝
神楽坂での販売・宣伝場所リサーチ結果紹介
- ② 首都圏から福津の滞在、体験型、こと観光を企画・実行
【福津泊、世界遺産巡り体験から見えてきた課題】
 - ・宿泊施設が少ない
 - ・1泊2日を充実させるコンテンツが不足
 - ・観光PRと受け入れ態勢のすり合わせが必要
 - ・観光スポットをめぐる交通網が貧弱
 - ・福津市の観光コンセプト【体験型・滞在型ツアーのポイント】
一般の観光ツアー+特別なプログラム
実施例)
 - ・漁船やマイボートをチャーターして海釣り
 - ・お祭り等住民イベントに主催者として参加してもらう体験
 - ・福津が誇るカメリアホールのスタインウェイで、ピアノレッスン&写真撮影
- ③ オール福津で、ふるさと納税アップ作戦
 - ・福津に縁のある人たちへの働きかけを市民全体で取り組む
 - ・ふるさと納税の返礼品に、体験・観光・飲食など、コトコンテンツを加える。
 - ・LINEスタンプ等を活用し、シルバー世代から都会に住んでいる子ども・孫に向けて働きかける



さいごに

お金の力による開発や補助金に頼るだけではなく、福津を愛する人たちが、福津の魅力を発信し、その想いに共感してくれる人々とともに、持続的に発展していきたい。

振り返り

昨年7月から7カ月、これまでの学びをスライドで振り返り、グループごとで感想を語り合いました。



「変わった私」発表タイム

その後、ふくつ姉妹。で「変わった私」と、「変わった私が、ふくつでいたいこと」について自分に問いかける時間を設け、紙に書いて、一人ずつ発表しました。

「福津への関心が高まった」「地に足のついた学びができた」「同じ方向を向いた仲間と出会えた」「若い人から刺激を受けた」「行動力がついた」「自分に自信を持つことができた」「一歩踏み出すことができた」「未来がみえた」等、前向きに「変わった」私を披露してもらいました。



修了証授与式&写真撮影

神崎智子あすばるセンター長から、受講生に修了証書が授与され、これからの私たちにエールを送ってくださいました。

最後に、「ふくつ姉妹。」の葉書きを持って全員で記念写真。皆さんのいきいきとした表情が印象的でした。

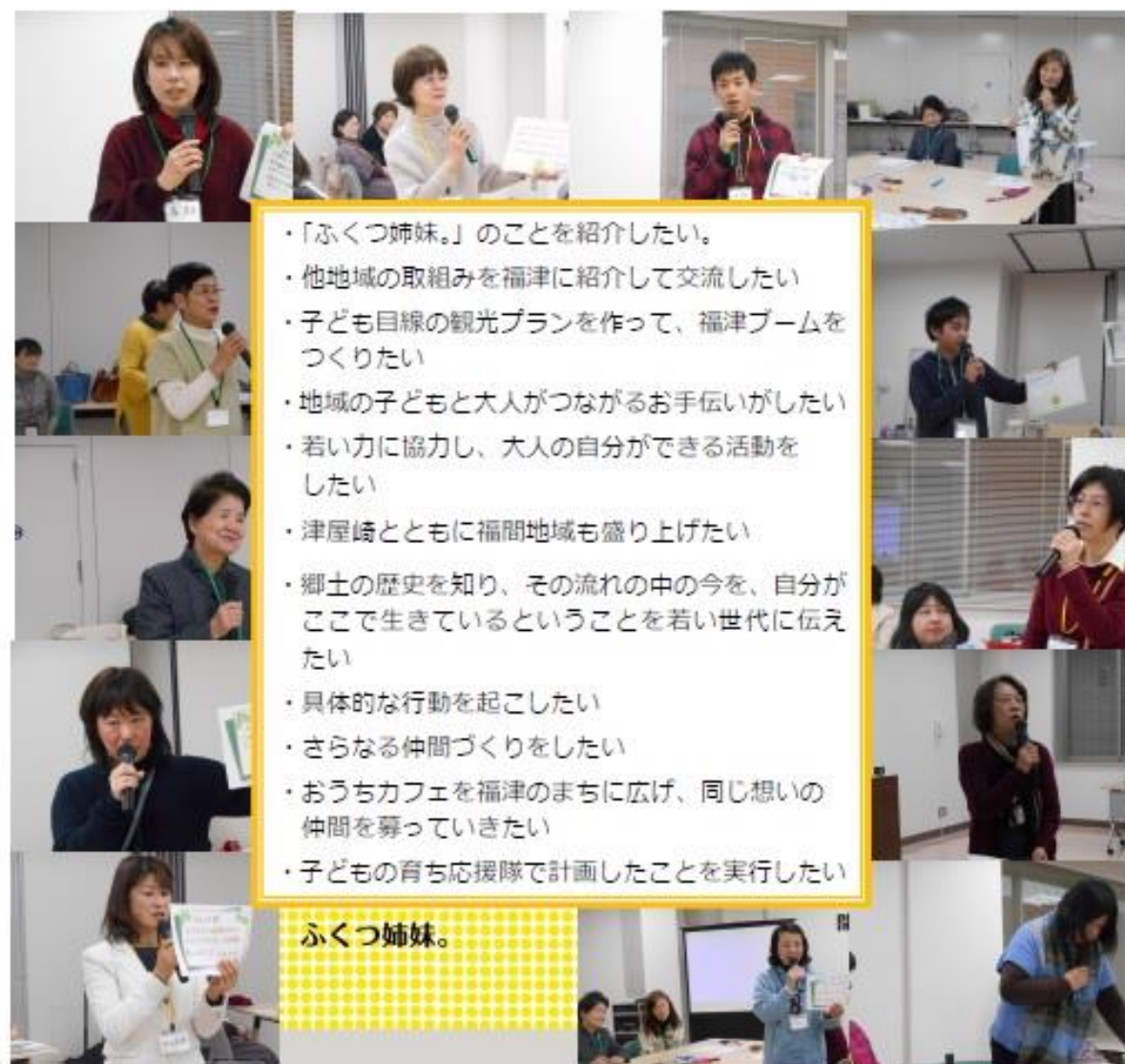


終始和やかな雰囲気の中、閉講式を終えて、その後、同じ会場で懇親会をしました。



ふくつ姉妹。で出会った仲間たち、これからも一緒に活動していきます。

「ふくつ姉妹。」で成長した私が、ふくつでしたいこと宣言



「ふくつ姉妹。」から生まれた3つの企画は、実現に向けて一歩踏み出します。

そして、「ふくつ姉妹。」は、さらにたくさんの方々とつながるために、名前を「ふくつながり」に改め、これからも、「このまちで何かしたい」人を応援し、ともに地域を元気にする活動をしていきます。

■ふくつ姉妹。修了生

梅谷 真知子	大山 美恵	緒方 泰世	小野 恵美子	児玉 麻紀	櫻井 紀子
佐々木 果苗	佐々木 紀子	柴田 奈緒美	白金 優人	谷岡 智子	鶴田 隆子
永尾 富士恵	廣渡 孝代	藤吉 亮羽	古里 美津子	松田 堂志	三次 文子
宮木 裕子	森 祥子	森 美月	矢野 八重子	山口 恵美	山本 開輝

■実行委員

石田 まなみ	大山 美恵	鈴木 亜希子	西山 友紀	福田 慶子	古里 美津子
豆田 優子	山田 宏子	吉田 由美子			

■企画アドバイザー

社 桂子 氏（まちづくりファシリテーター）

■実行委員会活動記録

活動	開催日	主な内容
準備会議	平成 30 年 6 月 11 日	全体プログラム検討、広報について
会議①	平成 30 年 7 月 5 日	第 1 回開講式進行案検討
会議②	平成 30 年 7 月 20 日	第 1 回準備
会議③	平成 30 年 8 月 8 日	第 2 回プログラム進行検討、第 4 回 100 人女子会&ふくつマルシェ内容検討
会議④	平成 30 年 8 月 27 日	第 3 回プログラム進行検討、第 4 回広報準備
会議⑤	平成 30 年 9 月 13 日	第 4 回プログラム進行検討
100 人女子会 チラシ配り	平成 30 年 9 月	福岡駅、市内保育園・幼稚園等でチラシ配布
会議⑥	平成 30 年 10 月 4 日	グループ活動の進め方について
会議⑦	平成 30 年 11 月 8 日	グループ進捗、第 5 回プログラム進行検討
郷づくり代表 者会議出席	平成 30 年 11 月 28 日	ふくつ姉妹。説明と、第 6 回プレゼン&マッチング大会ご案内
会議⑧	平成 30 年 12 月 17 日	グループ進捗、第 6 回プログラム進行検討
支え合い協議 体出席	平成 30 年 12 月 21 日	ふくつ姉妹。説明と、第 6 回プレゼン&マッチング大会ご案内
市役所関係課 訪問	平成 30 年 12 月～	ふくつ姉妹。説明と、第 6 回プレゼン&マッチング大会ご案内
会議⑨	平成 30 年 12 月 26 日	グループ進捗、第 6 回プログラム進行検討
会議⑩	平成 31 年 1 月 11 日	グループ進捗、第 6 回プログラム進行検討
会議⑪	平成 31 年 2 月 7 日	第 7 回プログラム進行検討、次年度活動について

女性げんき塾

7/28 (土)
開講!

参加者募集

ふくつ姉妹。

九州で住みやすい市No.1となった福津市で、
女性による元気な地域づくり応援講座がスタートします。

全7回
受講料
無料

TRY NOW

一つ一つがみなさんにとって宝物になるような講座やイベントを企画しています。
ふくつ姉妹。の1人になって笑顔の花を咲かせましょう。



託児あり

定員10名
300円/1回/人

全7回 講座一覧

第1回 開講式 (公開講座)

福津市副市長 松田美幸さん講演

郷女クロストーク&ワールドカフェ

7/28 (土) 13:30~17:00 福津市役所別館大ホール



第2回 ファシリテーション

「みんなが参加できる会議の進め方」

講師：松木治子さん (こととば那珂川ディレクター)

8/19 (日) 10:00~12:30 福津市役所別館大ホール

第5回 ワークショップ

「〇な郷^{さと}」を形にして発信

12/1 (土) 10:00~12:00 福津市役所別館大ホール

第3回 ワークショップ

「ふくつの新しい地図プロジェクト“〇な郷^{さと}”を作ろう」

9/8 (土) 10:00~12:00 福津市立図書館2F会議室

第6回 公開講座

「〇な郷^{さと}」プレゼン&マッチング大会

1/27 (日) 10:00~12:00 福津市役所別館大ホール

第4回 100人女子会&ふくつマルシェ

女子会 9/22 (土) 10:00~11:30 福津市中央公民館和室

マルシェ 11:00~13:00 福津市中央公民館ロビー

第7回 閉講式

2/9 (土) 10:00~12:00 福津市役所別館大ホール



- 対象 ■ 福津のまちが好きな女性 (20歳以上)
- 定員 ■ 30名程度
- 申込締切 ■ 平成30年7月24日 (火)

主催/郷をつくる。ふくつ姉妹。実行委員会 共催/福岡県男女共同参画センターあすばる 事務局/福津市男女共同参画推進室
福津市・ふくつ男女共同参画協議会絵りん (問い合わせ) 0940・43・8116

お申込みは裏面をご覧ください →

ふくつ姉妹。

女性げんき塾

第1回 開講式 福津市副市長 松田美幸さん講演・姉女クロストーク **清**ワールドカフェ

第2回 ファシリテーション
「みんなが参加のできる会議の進め方」 講師：松木治子 **清**

第3回 ワークショップ
「ふくつの新しい地図プロジェクト“〇な姉を作るう”」
9/8 (土) 10:00~12:00 福津市立図書館2F会議室

第4回 100人女子会&ふくつマルシェ
女子会 9/22 (土) 10:00~11:30 福津市中央公民館和室
マルシェ 11:00~13:30 福津市中央公民館ロビー

第5回 ワークショップ
「“〇な姉”を形にして発信」
12/1 (土) 10:00~12:00 福津市役所別館大ホール

第6回 公開講座
「“〇な姉”プレゼン&マッチング大会」
1/27 (日) 10:00~12:00 福津市役所別館大ホール

第7回 閉講式
2/9 (土) 10:00~12:00 福津市役所別館大ホール

受講生、随時募集中です。
興味のある方は、
お気軽にお問い合わせください！



主催/塾をつくる。ふくつ姉妹。実行委員会
ふくつ男女共同参画協議会 輪りん

事務局/福津市男女共同参画推進室

TEL:0940-43-8116

FAX:0940-43-3168

e-mail: danjo@city.fukutsu.lg.jp

ふくつマルシェ & 100人女子会

おやつ工房RIQ
おやつ時。
勝ちやん弁当
くつろぎ珈琲
米粉パン工房「姫の穂」
島屋
竹千寿
蘭花房

はじめまして、も
大丈夫。
地域づくりの話で
盛り上がるう！

9/22 (土)
10:00~13:30
福津市中央公民館

みんな、集まろう！

詳細は中面へ！



ふくつマルシェ 出店リスト

9月22日(土) 11:00~13:30

福津市中央公民館ロビー

おやつ工房RIQ

焼き菓子

地産地消、生産者さんとのつながりがりを大切に素材にこだわりの、栄養を考えた心と身体に優しいおやつ作りをしています。



おやつ時。

パウンドケーキ、クッキー

防腐剤・膨張材等を使用せず、できる限りシンブルな材料でおやつを作っています。



くつろぎ珈琲

珈琲

当店は高品質のコffee豆を自家焙煎しているお店です。「煎りたて、挽きたて、淹れたて」の本来的Coffeeの甘さが味わえます。



竹千寿

笹ちまき

贈り物・お取り寄せのちまき専門店。笹巻で蒸しあげた香りの良い笹ちまきをお楽しみ下さい。



勝ちやん弁当

かしわおにぎり

ふれあい広場ふくまで人気のおふくろの味です。



米粉パン工房「姫の穂」

米粉パン

「道の駅むなかた」にあるJA直営の米粉パン専門店。宗像・福津のお米で作っています。しっとりもちもちの食感です。



島屋

松ヶ枝餅

宮地嶽神社の参道でおなじみの島屋。外はパリッ。中はしっとり柔らかな。餅は北海道十勝産の小豆をコトコト炊いた自家製です。



蘭花房

ミニ蘭

ミニ胡蝶蘭「ふくつこはる」を生産直売しています。可愛いらしいピンクの花が次々と咲き、長期間楽しめます。



100人女子会

9月22日(土) 10:00~11:30

福津市中央公民館和室

*参加申込不要。託児は17日までに要予約。fukutsusushimai@gmail.comまでお問合せください。

福津が大好き!

つながりを作りたい!

一緒に、何かできたらいいな

楽しそう! 参加したい!

地域のこと、もっと知りたいな

関わりたいな

つながろう! 集まろう!



facebookへようこそ!



ふくつ姉妹。第1回、第2回、そして、マルシェ出店各セッションの紹介が詳しくわかる!

ふくつ姉妹。

第6回 公開講座

「“○な郷” プレゼン&マッチング大会」

日時 平成31年1月27日(日) 10:00~12:00

場所 福津市役所別館大ホール

平成30年7月28日の開講式から半年。
受講生たちは、講座やワークショップなどを通して学び体験した
ことを、地域にどう反映できるか話し合ってきました。
現在、3グループに分かれ、それぞれで地域で何かできないか、
模索して実行している段階です。
これまでの活動報告、そしてこれからの展開や構想の企画をプレ
ゼンテーションします。

【プログラム】

10:00	開始 繪りん会長 挨拶 経緯と当日の流れの説明
10:08	プレゼンタイム ■ ①おうちカフェ (居場所づくり) ■ ②子育て応援 ■ ③稼ぐまちづくり (1グループ15分プレゼン・質疑応答5分)
11:15	グループ毎にわかれて意見交換・交流 (参加者は、関心のあるグループに移動)
11:40 11:50	全体共有 福津市副市長 講評
	全員で写真撮影

①おうちカフェ

(居場所づくり)

独居者から子育て中の方などが立ち寄れる居場所、運営者同士の横の連携、サポート体制が整った居場所作りを目指すグループです。



②子育て応援

(子ども育ち応援隊)

子どもたちが交流する機会を通じて、子どもの居場所を創りたい!

子どもの育ちを支える居場所として、子ども会活動の活性化をしながら楽しく目指します!



③稼ぐまちづくり

稼ぐならポチポチかなと発足した「ぼちぼち会」。LINEでリアルタイムに連絡し、月に2回以上顔を合わせ、食べつつ喋り、賑やかに、ポチポチから、しっかり稼ぐ壮大な企画を練り続けています。
妄想の裏で現実も変えつつある仲間です。



地域や郷づくりで、協力していっしょにできることがあるかも!
ぜひ、受講生たちの発表を聞きにきてください。

主催/郷をつくる。ふくつ姉妹。実行委員会 共催/福岡県男女共同参画センターあすばる 【事務局】福津市男女共同参画推進室
福津市・ふくつ男女共同参画協議会 繪りん (お問い合わせ) 0940-43-8116
fukutsushimai@gmail.com

託児あり(300円/1回/1人) 要連絡

ふくつながり